

平成 29 年第 1 回 大磯町スポーツ健康会議 会議録

1. 日時 平成 29 年 9 月 22 日 (金)

開会時間 午後 1 時 30 分

閉会時間 午後 3 時 00 分

2. 場所 大磯町役場 4 階 第 1 会議室

3. 出席者

【委員】

北岡 英子 会長
野坂 俊弥 副会長
山本 通代 委員
及川 陸子 委員
木内 忍 委員
児玉 浩毅 委員
尾崎 一夫 委員
山本 勝己 委員
加藤 澄江 委員
植地 素子 委員
大山 公一 委員
(欠席者)
杉崎 誠 委員
青木 弘 委員

【事務局】

山口 信彦 スポーツ健康課長
吉田 敏美 スポーツ健康副課長兼健康増進係長
佐宗 拓人 スポーツ健康課スポーツ推進係長
宇野 さやか スポーツ健康課健康増進係主事

4. 傍聴者 0 名

5. 配布資料

- ・ 次第・委員名簿
- ・ 【資料 1】 計画の体系
- ・ 【資料 2】 議題 (1) けんこうプラン大磯の評価方法について (案)
- ・ 【資料 3-1】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート (案) 団体用
- ・ 【資料 3-2】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート (案) 町民用
- ・ 【資料 3-3】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート (案) 町用
- ・ 【資料 3-4】 進捗管理シート 取組み 参考資料
- ・ 【資料 4】 大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例 PR イベント 実施要項 (案)
- ・ 【資料 5】 磯食マイスター (案)
- ・ 【資料 6】 世界保健機関 (WHO) による「エイジフレンドリーシティ」について

- ・【資料7】 チャレンジデーについて
- ・【資料8】 自殺総合対策大綱

6. 議題

(1) けんこうプラン大磯の評価方法について

- ・【資料1】 計画の体系
- ・【資料2】 議題（1）けんこうプラン大磯の評価方法について（案）
- ・【資料3-1】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート（案） 団体用
- ・【資料3-2】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート（案） 町民用
- ・【資料3-3】 けんこうプラン大磯 進捗管理シート（案） 町用
- ・【資料3-4】 進捗管理シート 取組み 参考資料

(2) その他

- ・【資料4】 大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例 PR イベント 実施要項（案）
- ・【資料5】 磯食マイスター（案）
- ・【資料6】 世界保健機関（WHO）による「エイジフレンドリーシティ」について
- ・【資料7】 チャレンジデーについて
- ・【資料8】 自殺総合対策大綱

会議概要

1 開会

事務局) ただいまより、平成 29 年度第 1 回大磯町スポーツ健康会議を開催いたします。

4 月で各団体の長の交替や退任された方がありましたので、改めてご紹介をさせていただきます。東海大学体育学部生涯スポーツ学科教授の中村副会長が 3 月末で退官されたため、同大学の野坂教授にお願いしたいと思っています。また、中郡医師会大磯班では班長が東野委員から木内委員へ、平塚歯科医師会大磯地区では地区長が松本委員から児玉委員へ、大磯町食生活改善推進団体会長が三堀委員から加藤委員へ交替となりました。また平塚保健福祉事務所の島津委員から大山委員へ交替となりました。

副会長の任につきましては中村委員が退官されたため、大磯町スポーツ健康会議規則第 5 条「会長及び副会長は委員の互選により定める」となっておりますので、事務局としては野坂委員に引き継いでいただきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員) 意義なし

事務局) ありがとうございます。副会長は野坂委員にお願いいたします。それでは交替された方々には自己紹介をお願いしたいと思います。

【委員自己紹介】

(野坂委員、木内委員、児玉委員、加藤委員)

事務局) ありがとうございます。それでは、議題に入る前に、2点ほど確認させていただきます。まず、この会議は「大磯町審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、会議は原則公開となっております。当会議につきましても、公開対象でありますので、一般公開されます。次に、会議内容につきましては録音をさせていただきます、会議録を要旨概要という形で、後日、町のホームページ等で公表させていただきますので、ご了承願います。なお、公表する会議録には、発言者の個人名は入りません。この件で何かご質問等はございますか。

本日の会議では傍聴者はいらしていませんので、会議に入らせていただきたいと思います。それでは、議題に入りますが、会議の進行は規則第6条の規定により、会長が議長になるとなっておりますので、よろしく願います。

会長) ここで委員が変わられたということで、より一層有意義な会議としていきたいと思えます。この会議の会長を務めさせていただいております北岡と申します。よろしく願います。ただ今より、第1回大磯町スポーツ健康会議の議題に入りたいと思えます。本日の出席委員は11名です。

大磯町スポーツ健康会議規則第6条第2項により委員の過半数の出席がありますので、会議は成立いたしました。

それでは、議題に入ります。始めに、議題の(1)「けんこうプラン大磯の評価方法について」事務局より説明をお願いします。

2 議題

《説明》

(1) けんこうプラン大磯の評価方法について

- ・計画の体系【資料1】－説明省略－
- ・議題(1)けんこうプラン大磯の評価方法について(案)【資料2】－説明省略－
- ・けんこうプラン大磯 進捗管理シート(案) 団体用【資料3-1】－説明省略－
- ・けんこうプラン大磯 進捗管理シート(案) 町民用【資料3-2】－説明省略－
- ・けんこうプラン大磯 進捗管理シート(案) 町用【資料3-3】－説明省略－
- ・進捗管理シート 取組み 参考資料【資料3-4】－説明省略－

《質疑応答》

会長) ありがとうございます。それでは質疑に入ります。ただいまの説明の内容につきまして、なにを何時までにやらなければいけないかなど、ご意見やご質問等がございましたらご発言ください。

委員) 「町民一人ひとりの取組み」は公募が2人しかいないが、2家庭だけの情報で町民の評価となりえるのでしょうか。

事務局) 町民全体を代表することは無理だと考えていて、団体の代表の方とは違った、町民としての生活の中の視点が評価のなかに欲しいと考えて提案させていただきました。評価としては色々な指標を使って数値的として出すことは決まっているので、数値以外のどのようなことを考えて取り組んだことがあるか実際のところを参考に教えていただきたいというところで公募委員の2名には期待をしてしまったところです。

会長) 2名のご意見だけではなく、アンケートになるかは分かりませんが町民の意見を集約するような資料もあるうえで、生の声として提出していただきたいということでしょうか。

事務局) ただ、アンケートを行うことは想定していなく、すでに設定している指標で評価を行います。例えば「休養・こころの健康づくり」では、実際にどんな取組みをしているのか生の声を聞きながら、最終的には「睡眠で休養が十分取れている人の割合」の数値で評価をしていきます。そのため公募委員2名へのお願いは、どんなことを考えて、取り組まれて、感じたことを生の声として教えていただきたいという趣旨です。

委員) 計画を読んで新たにに取り組んだことを書くのか、いままでの通常の生活の事を書くのかどちらの方がよろしいでしょうか。

事務局) どちらもありだと考えています。

会長) 個人で書いてもいいし、周りの方たちの意見を集約して提出していただいてもいいでしょうか。

事務局) 自分の事だけでなく、周りの関心が高まっている、参加したといった情報を記入していただいても結構です。

会長) シートの提出までに時間があるので、内容については質問があれば、事務局に相談していただきながらということよろしいでしょうか。

事務局) 相談に来ていただければ事務局でもお手伝いいたしますので、忌憚ない意見をだしていただければと思います。ぜひご近所の方や学校でのお話などの意見を聞かせていただければと思っています。

会長) 関係団体の皆さんは資料3-4に関係する取組みの表がありましたが、これが記入された進捗管理シートが送られてくるとのことでしたが。

事務局) 皆さんに計画の中から関係する取組みを見つけ出していただくのは大変かと思いましたが、事務局としては案として対応する取組みをシートの中に記載していただきます。もちろん、中には事務局が提示していない取組みを行っている場合もあると思いますので、団体のほうで取

組み内容を変えて提出していただいてもかまいません。

会長) 送られたシートには全部書かなくてはいけないのでしょうか。

事務局) 書けるところだけで結構です。事務局としてもどのくらい、書いていただけるのか分からないので、事業を実施してこうしたほうが良かった、ここがだめだったから町にはこうして欲しいなどのご意見もあれば、書いていただければと思います。

事務局) 町の計画は行政が一方的に評価してその結果を委員の皆さんに提示して、どうですかと会議で諮るのが通常なのですが、この計画自体がみなさんと一緒に実施していく内容となっていて、色々なところで活動しながらみなさんと一緒に計画が進んでいて、みなさんにも自分たちの活動の振り返りという事で進捗管理シートを提案させていただきました。今回はご提案なので、進捗管理シートもこの形式だと書けないなどありましたら意見をいただいて、修正いたしますので、ぜひご提出いただければと思います。町のなかでもこのような形式で評価を行うのは珍しく、初めての試みというところで作成してみました。

会長) シートは資料3-1、3-2ということになるのですよね。こういう項目があったらいい、もっと大きな括りがいいとか形式についての意見はありますでしょうか。また団体の皆さんのご意見を必ずしも集約しなくてもいいということでもよろしいでしょうか。

事務局) 組織によってはたくさんの団体の長であられたり、活動も多岐にわたられていたりするので総意であったり、総会での意見というわけではなく、実際に活動されている方の意見を資料として組み入れたいと考えています。委員としての個人的な考えでも、活動を担当されている方に委ねて書いていただいてもいいと思っています。

委員) 進捗管理は大事だと思いますが、提示していただいたシートで評価につなげていくのは難しいのではないかと思います。資料3-3の町用のシートを見ると評価でABCと書く欄があるので、評価欄があると、全体での把握が出来るかなと思いました。

イベントごとに計画を立てて実施して反省をして改善するという事を、個別に行っているのですが、その一つ一つを積み上げていけば総合的にまとまるのかもしれませんが、そこまで行うのは難しいと思うので、事務局は代表して事例を挙げてほしいということなのだと思います。報告して本当に真意を表せるかというところははっきり言って分かりません。

生涯学習計画でも同じように実績をあげましょうということで、膨大な量の資料を作成してくれている。関係団体からひとつひとつを取りあげて、参加した人の満足度で評価するという内容なので、参考にされたらいいかなと思いました。

事務局) 事業に参加した方の意見を事務局が吸い上げるのは事務局実施事業でないのが難しいところです。ですので、それぞれの団体で聞いていただいた参加者の感想やその意見による改善した内

容やその後の事業展開などを記入していただければ嬉しいところです。そのあたりの内容を落とし込んでいくために、生涯学習計画の方法も参考にして、シートを変更していくことは可能です。

今のご意見だと、町の形式と同じようにご自分たちでABCといった自己評価をした方がいいということでしょうか。

委員) 担当者が責任をもって遂行しているので、担当者の評価は当たっていると思います。アンケートをとったり、参加者に感想を聞いたりして、次につなげているので担当者の評価は信用していいのではないかと思います。

会長) ありがとうございます。スポーツの部門については、その中でやっている事をひとつひとつ評価をされているのだと思うのですが、このスポーツ健康会議ではそれぞれの団体さんが同じようにされていて、そのすべてが集約されれば一番いいのだと思うのですが、ものすごい膨大になると思うんですね。主な目標値は計画の中で決めたものなので、数値は事務局の方で出して評価できると思うのですが、それだけではなく今お話しいただいたようにそれぞれの団体でPDCAサイクルはまわされて、評価を行っていること自体が私は大事だと思います。そういう事をまとめて書いていただくということだけでも、目標数値以外のところで、それぞれが各事業に対して実践している事が質的な評価として書かれれば、全部まとめた時に評価の足しになっていくのではないかと思います。数値を挙げたらきりが無いぐらいで、その中で代表的なものを選んで肉付けとなるような評価として、みなさんから集めさせていただく、という解釈をしているのですが。

事務局) その通りです。

会長) 今回のシートの内容は今年度の4月から3月末に向けての取組みということでよろしかったですか。

事務局) はい。

会長) やってみたいと分からない点もあるとおもいますし、やってみて分からない点があれば事務局の方で対応していただけるということでした。「進捗管理シート」については修正することなく、この様式でやっていくという事でよろしいでしょうか。

事務局) 補足なのですが、このやり方を考えていく中で、計画の中身を皆さんがもっと共有したり、各活動を見聞きして深めていかれるということが、スポーツと食と健康が連携し合って高めていくということの一つですので、評価しながらも理解を深めていく一つになったら良いと考えています。

会長) 私も別のところで計画策定に関わっていますが、行政が大元をつくって、一応形だけ会議をして、

委員のみなさんにご意見をいただくようなトップダウンが多いです。その点、大磯町では委員のみなさんの意見を取り入れながら評価をするということは、事業の改革にもつながると思いますので、会長としては皆さんにご負担をおかけしてしまうことになっていきますがご協力いただければと思います。

委員) シートに「行政への提案」などの枠をつくれませんか。記入した提案が通るか通らないかは別として、具体的に次の施策へとつなげることが出来ると思いますがいかがでしょうか。

事務局) この計画に向かっていくための提案を書きいただければ一番だと思います。シートの一番下に提案事項のような形で追加させていただきます。

会長) 行政への提案は多いと思います。ソフト面、ハード面ともに。

事務局) ただ、提案していただいたことに対しては、町の方針や予算が伴う事になりますので、ひとつずつご回答は出来ないと思います。基本的には提案を書きいただいて、次につなげて出来る限りやっていきたいが、100%叶うとは保証できません。

委員) もちろんそうだと思います。例えば、私が関係する項目で「スポーツを実践する」というものがあります。この数値が0.1%でも増えればいいと思うのですが、高齢の方だと激しい運動でないとスポーツではないと誤解している方がたくさんいます。しかし、高齢の方が10分でも歩けば十分な運動になりえます。大磯町の歩道は広くて歩きやすい環境です。激しいスポーツでなくとも運動になりえるという啓発の打ち出しをするなどすれば、アンケートを取った際に答え方次第でパーセンテージが上がると思います。啓発活動だけでもお金がかからずにできます。

会長) スポーツの定義をどう捉えるかということですね。

委員) 世代によってずいぶん違ってくると思います。定義づけが大事だと思います。

会長) 貴重なご意見ありがとうございます。シートも今のご意見を反映していただけるということでもよろしいでしょうか。

事務局) はい。修正させていただきます。

会長) 他にはよろしいでしょうか。では、シートを作成することにはご賛同いただけたということで進めたいと思います。それでは「3その他」を事務局からお願いします。

3 その他

《説明》

(1) 大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例イベントについて

・大磯町歯及び口腔の健康づくり推進条例 PR イベント 実施要項(案)【資料4】－説明省略－

《質疑応答》

委員) このようなイベントはぜひ患者さんにも周知していきたいが、国府地区だと交通の便が悪いと難しいです。駐車場はどうなりますか。

事務局) 会場は保健センターで、役場駐車場は町の催しなので参加者は無料です。

会長) ぜひ委員のみなさんにもPRしていただきたい。

《説明》

(2) 磯食マイスターについて

・磯食マイスター(案)【資料5】－説明省略－

《質疑応答》

会長) この会議で認定するのですか。

事務局) 食育の会議をスポーツ健康会議に合流したので、お話をだす先がここになってしまいました。

事務局) 認定の場については、もっと他に方法を考えていかななくてはいけないと考えています。スポーツ健康会議がいいのか、別の会議をつくるのか。

会長) 専門の運用団体中心のところでお願いできたらと思います。

事務局) そういったご意見をいただければ検討しやすいので助かります。スポーツ健康会議は色々な団体さんが混じっているので、なかなか食育の細かい話をされても難しいというのも分かっておりますので。今回はスポーツ健康会議ではどうかという案を示させていただいて、食育関係のみなさんで議論したほうが良いのではないかという意見を頂けましたので、他にも忌憚ないご意見をいただければ助かります。

会長) この事業をやっていくことについて異論はないと思います。マイスターを決める基準はかなり精査しないといけないと思います。今、認定方法を決めないといけないとなると漠然としすぎていて困るなという気がしますし、この会議で認定するかしないか決めるとなると、これは報告ではなくて、審議する内容として挙げていただかなくてはいけないと思います。

事務局) 今日のご意見をいただき良かったという趣旨で、お知らせとさせていただきます。基本的にはスポーツ健康会議では厳しいのではないかとこのところで方向性はよろしいでしょうか。

会長) 位置づけとして、スポーツ健康会議は他の会議の上に立つものとして、他の会議で推薦されたものを最終的な認定だけ行うものなのか、実際に協議を行う場とするのか、会議のあり方にもよると思います。

事務局) この会議は、計画だけでなく、3つの分野について重要な事項を審議するということになっています。ただ、磯食マイスターが重要な事項というよりはもっと細かいものとなる気がするので、今日のご意見を元に練っていきたいと思います。

委員) マイスターとう称号をもらえればすごく良いと思うが、選考基準も厳しくなってくると思う。趣旨はとても良いものだと思うが、専門ではない集まりの会議で、細かい話を言い出すとまとまらないと思うので、食の団体の方で話して頂ければ。

会長) 関係する団体で検討していただければと思うということで、事務局で対応をお願いします。

事務局) はい。ありがとうございます。

《説明》

(3) WHO エイジフレンドリーシティについて

- ・世界保健機関 (WHO) による「エイジフレンドリーシティ」について【資料6】—説明省略—

《質疑応答》

(特になし)

《説明》

(4) チャレンジデーについて

- ・チャレンジデーについて【資料7】—説明省略—

《質疑応答》

会長) スポーツ関係の団体からご意見はいかがですか。

委員) いかに周知を行うかが重要ですね。

事務局) 広報活動がメインになってくると思います。

委員) 開催日が平日なのがネックですね。会社や学校などで参加者が少ないのでは。

事務局) 通勤や通学の歩いた時間などもカウントできます。

会長) 周知が重要ですね。それでは5点目の報告はいかがでしょうか。

《説明》

- (5) おおいそ自殺対策計画(仮称)の策定について
・自殺総合対策大綱【資料8】—説明省略—

《質疑応答》

会長) この会議では何をすることになりますか。

事務局) 計画を作成する際にはスポーツ健康会議に内容を諮りたいと思っています。けんこうプラン大磯にも自殺対策について記載があるので、すでに自殺対策計画を作成したことにならないかと問い合わせたところ、ガイドラインが出来る以前のものについては新しい計画を策定したとは認められないと回答されてしまいました。計画をいくつも作成するのは私たちもいかなものかと思っているのですが、また新たな情報がでましたら会議にてお話しさせていただきます。以上です。

事務局) 追加ですが、大磯チャレンジフェスタを10月1日に開催しますので、みなさんご参加ください。

会長) 議題はこれですべて終了になりますが、みなさんご質問はありますか。

(特になし)

4 閉会

会長) 次回は6月下旬～7月上旬に会議開催となります。また、その前に進捗管理シートが事務局より送付されますので、お忙しい中大変だとは思いますが、ご協力をお願いいたします。それではこれにて会議を終了いたします。